【予稿集】

**情報メディア学会 研究大会発表予稿集の執筆マニュアル**

**第２版，2017年2月13日改訂（副題が必要な場合，ここの行に書いて下さい）**

【←　行空け】

角田裕之\*, 石川敬史\*\*, 天野晃\*\*\*, 岡部晋典\*\*\*\*

\*鶴見大学文学部　\*\*十文字学園女子大学人間生活学部

\*\*\*物質・材料研究機構　\*\*\*\*同志社大学 学習支援・教育開発センター

\*tsunoda@xxxx.ac.jp　\*\*takashi@xxxx.ac.jp　\*\*\*amano@xxxx.go.jp　\*\*\*\*okabe@xxxx.ac.jp

【←　行空け】

　この部分には，ご発表内容の概要を読者に伝えられるように，そのあらましを200字程度で書いてください．この原稿は発表申し込みをされた方に対する「予稿集のご執筆依頼」と「原稿の書き方に関するお願い」を兼ねています．（適当に文字列を置き換えてください）

【←　行空け】

**Manual of writing a manuscript for proceedings in Joho Media Gakkai**

**Ver. 2, revised on 13th 2, 2017**

【←　行空け】

Hiroyuki TSUNODA\*, Takashi ISHIKAWA\*\*, Kou AMANO\*\*\*, Yukinori OKABE\*\*\*\*

\*School of Literature, Tsurumi University

\*\*Faculty of Human Life, Jumonji University

\*\*\*National Institute for Materials Science

\*\*\*\*Center for Learning Support and Faculty Development, Doshisha University

【←　行空け】

**1. はじめに**

　情報メディア学会研究大会のポスター発表にお申し込みいただきありがとうございました．ここでは，「情報メディア学会予稿集執筆要項」を説明します．この文書は「情報メディア学会誌論文等執筆要項」[1]を基本としています．このファイルは大会発表資料作成用スタイルシートを兼ねていますので，そのまま使用して原稿を作成することもできます（適当に文字列を置き換えてください）．

~~研究大会のポスター発表は，研究大会当日の受付開始後から閉会までポスターの掲示をしていただき，ポスター報告として報告1件あたり5分ほどのポスター紹介（発表者による発表内容の報告）を行っていただきます．~~

（ポスター発表の方法については現在、調整中です。詳細が決まり次第、改めてご連絡をいたします。）

　なお予稿集は学会HPにて公開されます．本稿をよくお読みいただき原稿を作成いただければ幸いです．

**2. 原稿の書式について**

A4判を使用し，Word等を用いて横書きとしてください．ご提出いただいた原稿をそのままモノクロ印刷いたします。原稿は、Adobe Reader 7.0以上で表示または印刷可能なPDF(Portable Document Format)ファイルで，フォント埋め込み状態にて提出してください．なおWordからPDFファイルを書き出す方法は別紙1を，フォント埋め込み方法は別紙2をご参考ください．

執筆枚数は2頁又は4頁です．もしご提出いただいた原稿枚数が奇数頁の場合には，白紙を追加し偶数に揃えます．なお発表資料に対する別刷りは作成いたしませんので御了承ください．また原稿の提出後は修正・差し替えには応じませんのでご注意ください．

発表を取り消される場合には，直ちにポスター発表申し込み連絡先までお知らせ下さい．期限までに連絡がなく，原稿をご提出いただけなかった場合には発表取り消しとさせていただきますのでご承知おき下さい．

**3. 全体的なレイアウトについて**

**3.1 余白と段組および字数・行数**

　余白は上下25mm，左右20mmほどとってください．本文に先行するヘッダーの部分（タイトル，著者氏名，要約）については一段組で横45字縦45行とし，本文以降については二段組，横22字縦40行で設定してください．

**3.2 文字サイズと字体**

　文字サイズは主タイトル（日英とも）のみ12ポイントとし，他は10.5ポイントとしてください．

　字体は，日本語は明朝体，英語はCenturyを使ってください．数字は原則として半角（Century）を用いてください．

**4. 各構成要素別のレイアウトについて**

**4.1 予稿の構成要素**

　予稿の構成要素は次のとおりです：和文タイトル（およびサブタイトル），和文著者氏名，和文著者所属，メールアドレス，和文要約（200字程度），英文タイトル（およびサブタイトル），英文（ローマ字）著者氏名，本文，注・文献．

**4.2 和文タイトル**

　12ポイントで中央寄せしてください．もしサブタイトルがあれば改行し，本タイトルとの間には空行を入れずに，中央寄せで記述してください．ただし，サブタイトルの文字のサイズは10.5ポイントとします．

**4.3 和文著者氏名**

　10.5ポイントで中央寄せしてください．連名の場合は著者の間をカンマで区切ってください．

**4.4 和文著者所属・メールアドレス**

　和文著者氏名に続いて，所属を中央寄せ，10.5ポイントで記述してください．複数著者の場合には，\*，\*\*，\*\*\*，などの記号を使って，どの著者の所属であるかを明示してください．

　その直後に，著者のメールアドレスを

記載してください．複数著者の場合には，同様に，\*，\*\*，\*\*\*，などの記号を使ってください．

**4.5 和文要約**

　和文著者所属の後に1行空けてから，200字程度で，発表のあらましを記述してください．文字サイズは10.5ポイントとします．

**4.6 英文タイトル・英文著者氏名・英文著者所属**

　和文要約の後に1行空けてから，英文タイトル（サブタイトル），英文（ローマ字）著者氏名，英文著者所属を記述してください．レイアウトは和文の場合に準じます．ただし，字体はCenturyとします．

**4.7 本文**

　英文要約の後に1行空けてから，本文を記述してください．ただし，本文は二段組です．

**4.7.1 セクションタイトルとセクション記号**

　本文中の章，節，項などの立て方は，原則として，以下の例に従ってください．

1. 章タイトル（前後一行をあける）

1.1 節タイトル（前後一行をあける）

1.1.1 項タイトル（前一行をあける）

　また，セクションタイトルおよびセクション記号は太字で強調してください．

**4.7.2 段落**

　段落は最初の行の頭を１字下げて書いてください．

**4.7.3 図・表・写真**

　図・表・写真は，本文中の適当な箇所に挿入してください．

**(1) 表について**

　表はその上部に「表○：表名」（○は表の一連番号）を記載してください．

表1：特定的な記号の用法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 記号 | 用法 |
| 1 | （　） | 説明・その他付加的に記述する事柄 |
| 2 | “　” | 引用箇所の表示 |
| 3 | *Italic* | 文中における欧文の書名・誌名 |
| 4 | 『　』 | 文中における和文の書名・誌名 |

**(2) 図・写真について**

　図・写真はその下部に「図○：図名」（○は図の一連番号）または「写真○：写真名」（○は写真の一連番号）を記載してください．

図1：図の例

**(3 ) 図表等の注について**

　図表等に注を記す必要があるときは，肩付き番号1,2…として図表等の下部に付記してください．なお，他の資料から引用したものには，その出典を明記してください．

**4.7.4 文章・表記など**

　文章は原則として常用漢字と現代仮名づかいを用いてください．なお，4.7.3 (1)の表１で掲げた記号は特定の用法で使ってください．

**4.7.5 引用**

　本文中に他の文献からの引用を含める場合は，必ず引用符“　”を用い，かつ末尾の右肩に半角の角カッコ[　]に入れた一連番号をつけてください（この一連番号は「注・文献」の番号と対応させてください）．

【例】

　“情報リテラシーの育成と情報アクセスの保障を教育機関が行っていくためには，理論的裏づけが必要である”[1]．

　引用箇所を特に示す必要がある場合には，本文中で引用番号に続けて，該当ページを半角の丸カッコ(　)に入れて指定してください．

【例】

“日本の情報メディア研究は，欧米のそれと異なり，未だに文献調査的研究が主流になっている”[12](p.51)．

　引用文が長く，独立した段落として表示する必要がある場合には，その前後に各一行の空白をおき，引用部分を全角2文字分字下げして記載してください．

【例】

（一行空白）

全角２文字分下げ

ヨーロッパ人の航海士はまず海図に航海の　プラン（道筋）を描き，そのプランに従って船のたどるコースを決める．航海中に予想外のことが起こってプランを変更する必要が生じた場合には，海図のプラン（道筋）を書き直し，新たなコースに沿って舵を取る［2］(p.78-79)．

（一行空白）

　注と文献には一連番号を与え，本文中で同一文献を二度以上引用する場合には，既出の番号を用いてください（op. cit や ibid.は用いないでください）．

**4.8 注・文献**

**4.8.1 注・文献の記載方法**

　本文の後に1行空けてから「注・文献」という見出しを立て（10.5ptの太字），その次の行から，注と文献とを一括して記載してください．この際に，すべて一字下げしてください（注・文献のリストの左のインデント幅を1字分とってください）．

　注・文献における文献の記載方法は，『科学技術情報流通技術基準SIST02 : 参照文献の書き方』[2]に準拠します．

以下にいくつかの例を示します．

**4.8.2 雑誌論文の例**

[1] 杉本重雄. メタデータについて : Dublin Coreを中心として. 情報の科学と技術. 1999, vol.49, no.1, p.3-10.

**4.8.3 単行書の例**

[2] 三輪眞木子. 情報検索のスキル : 未知の問題をどう解くか. 中央公論新社, 2003, 214p.

[3] Abe, Takao. The Jesuit Mission to New

France : A New Interpretation in the

Light of the Earlier Jesuit Experience in

Japan. Brill, 2011, 234p.

**4.8.4 論集中の論文の例**

[4] 岩田茂子. “動機づけと学習者の主体性”. 教育心理学 : 個に帰する教育のために. 斉藤浩一郎, 並木博編. 慶應義塾大学出版会, 1986, p.28-42.

**4.8.5 ウェブサイト**

[5] 坂本和夫編“酸化亜鉛薄膜を使った紫外線センサ”. J-STORE. 2010-8-23.

http://jstore.jst.go.jp/techeyeDetail.

html?techeye\_id=133&\_ssn=q,

(参照2013-5-21).

[6] “ SF424 (R&R) Individual Fellowship Application Guide for NIH and AHRQ”. U.S. Department of Health and Human Services.

http://grants1.nih.gov/grants/funding/424/SF424\_RR\_Guide\_General.pdf, (accessed 2013-5-21).

**注・文献**

[1] “情報メディア学会誌論文等執筆要項”. 情報メディア学会.

http://www.jsims.jp/toko/02.html,（参照2013-5-21）.

[2] “科学技術情報流通技術基準SIST02 : 参

照文献の書き方”. 科学技術振興機構.

http://sti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02\_2007/main.htm,（参照2013-5-21）.